

# 2021-2025

## JCI HAMAMATSU

---

### STRATEGIC PLAN



## 浜松を、超える。 おもって。つくって。

素晴らしい街、浜松。

風光明媚な自然に囲まれ、気候も穏やか。

工業や農業などの産業も多様で、  
人々には「やрмаいか」という進取の精神が宿っている。

しかし、私たちはその恵まれすぎた環境に、  
安住してはいないだろうか。












先人たちが切り開いてきた素晴らしいこのまちを、  
心から想えているだろうか。  
未来の子どもたちの笑顔を、  
全力で創造できているだろうか。

私たちは満足しない。  
常に向上心をもって挑戦をし続ける。

JCI 浜松は、1951 年の創立以来、ずっと挑み続けてきました。  
私たちも開拓者にならなければいけない。  
JCI 浜松にしかできないこと、  
この街の為にできることがまだまだある。

私たちが大好きなこの浜松を、  
私たちは超えていかなければならない。

# Strategic map

	社会	経済	環境	人材	組織
1	浜松まつりの新様式を構築	国内外ビジネスマッチング	佐鳴湖 キレイ化プロジェクト	浜松版TOYP事業実施	Webツールによる 発信強化
2	デジタルリテラシーの 推進	新生活様式における 市民生活支援事業	天竜杉の保全・魅力発信	キャリア教育事業の実施	インフルエンサーの入会
3	ジェンダーレス 社会構築事業	起業家への相談・ 支援体制の構築	館山寺・ 弁天島再生プロジェクト	移住支援活動	理事育成プログラム
4	出産・子育て支援施策の 提言	地元農家との連携	中田島砂丘保全・ 魅力発信	浜松検定の実施	出向委員会の設立
5	交通インフラ整備・ 交通事故削減への提言	松菱跡地再生事業	ハザードマップ普及事業	ビーチスポーツの 振興事業	各会員会議所との 合同事業
6	健康増進スポーツ事業	新様式での リモートワークの推進	専門家と連携して 課題解決	LOM内外の ホームステイ実施	諸会議や各種事業の 誘致・研究
 <p>SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS</p> <p>2030年に向けて 世界が合意した 「持続可能な開発目標」です</p>	 <p>1 貧困をなくそう</p>  <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>  <p>4 質の高い教育をみんなに</p>  <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>  <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>  <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	 <p>8 働きがいも経済成長も</p>  <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>  <p>12 つくも責任 つかう責任</p>  <p>17 パートナシップで目標を達成しよう</p>	 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>  <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>  <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>  <p>14 海の豊かさを守ろう</p>  <p>15 陸の豊かさも守ろう</p>  <p>16 平和と公正をすべての人に</p>	 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	

戦略計画とは、JCI浜松がこれからどのように地域をより良くするの  
かを示す航海図のような役割を果たすためのものである。JCI浜松は  
あらゆるパートナーと協働し、この計画を実行する。

5年間の計画にあたり、その年を縛ることや可能性を失うものであ  
ってはならない。本計画はJCI浜松らしく果敢に挑戦していくための計  
画であり、本計画はJCI浜松らしく果敢に挑戦していくための計画であり、  
その道標となって、その方向性を指し示していくものが戦略マップで  
ある。

## 縦軸

【 JCI浜松 】



## 横軸

【 社会・経済・環境・人材・組織 】

これからの5年間に取り組んでいくべき課題として分割

## 社会

### 脅威

首都圏や関西圏への若者流出や少子化、超高齢化の進展により浜松市内の若者減少は更に進む事が考えられる。新型コロナウイルスの影響により、従来の社会の在り方が変容している。青少年を取り巻く教育や環境がSNSなどの普及により変化し、実体験を得る機会が減っている。社会保障制度そのものや財政への不安も増している。

### 機会

オンライン化が進み、働き方やライフスタイルが多様化している。地方ならではの課題を、産業や風土に恵まれた浜松ならではの視点で解決することができる。海外にルーツを持つ人材が豊富な本市だからこそよりグローバルな発展が見込める。

### JC に求められる行動

SDGsをベースに先進的な知識とアイデアをベースに運動展開をする。情報化やグローバル化などの多角的な視点から青少年の育成に寄与する事業を行う。青年としての自覚と誇りをもって地域社会の課題に取り組む。

## 経済

### 脅威

2020年新型コロナウイルスの感染拡大は浜松市の経済にも大きな影響を与えた。大中小企業の収益悪化は著しく、市民の所得の減少や将来への不安による個人消費の落ち込み、人々の往来の減少等、悪循環が懸念される。少子化、若年人口の減少や都市部流出による地元中小企業への就職や跡継ぎ不足に直面している。

### 機会

乱立する業者が淘汰され、正しい競争が起こり適正価格になる。浜松における既存の優良企業が活躍の場を広げるチャンスとなる。また、今後三遠南信道路が開通すること日本の物流の中心としての地位がさらに高まる。販路拡大の可能性やヒト・カネ・モノの流入の好機となる。

### JC に求められる行動

地元企業と連携した事業を行い、浜松の持つ魅力を市内外に発信する。パートナーシップを強固にすることで相乗効果を生み、浜松の経済の活性化の一助となる。誰にでもわかりやすいネット社会の構築など、新しい住みやすさの街づくりへの先進的な考えや技術に関する知識を獲得して発信する。

## 環境

### 脅威

街中のにぎわいが減り、市全域で人口減少や少子高齢化が大きな問題となっている。北から南へ縦に長い地形により地震や津波、土砂崩れや水害等、多くの災害のリスクが存在する。浜松の資源、恵まれた環境について、市民の理解が希薄である。

### 機会

浜松の地域資源、利便性を生かして地域の差別化を行い、全国から多くの人を呼びこむ持続可能な地方都市の創生ができる。災害リスクに対する防災や減災、環境負担軽減に関するサービスや商品の開発が、「ものづくりのまち浜松」をより発展させることができる。

### JC に求められる行動

浜松の地域資源や恵まれた環境について市民に再認識させ、環境の保護と資源活用の両立を目指す。また、防災に対する意識を高める活動を展開し、浜松を防災の充実した安心して子育てのできる街として全国に発信していく。

## 人材

### 脅威

人口減少や高齢化、若者の地元離れ、後継者不足などが大きな問題となっている。地域のリーダー像も不明確であり、不安定な経済情勢のなか、将来世代がビジョンを描きにくくなっている。将来世代の育成にもこれまでのやり方が通用せず、多様性や発信力を持った人材への投資が満足に出来ていない。一方、街の人材が流動的でない地域では、狭いコミュニティで価値観が古いまま固定化している。

### 機会

人口減少や若年層の市外流出などの問題もあるが、WEBを活用した教育や会議の普及により、いる場所を問わず多くの機会が得られるようになってきている。人材の流動化も確保しつつ、地元へ貢献できるような未来を描くリーダーを創出する。

### JCに求められる行動

地元への愛着を持ち、時代に対応した能力や魅力を備えたリーダーを育成する必要がある。青少年育成事業などで多くのきっかけや体験を通じて、ビジョンや夢を描けるような人が地元に残ることで街の活性化にもつながる。さらに、市外からの人材流入も積極的に受け入れるような風土を醸成する。

## 組織

### 脅威

新入会員の減少および高齢化、業種の固定化により組織の質の低下を招いている。価値観やライフスタイルの多様化する社会の中で、会員拡大や組織の在り方の見直しが課題となっている。

### 機会

新型コロナウイルスの影響により、例会や事業の在り方を根本的に見直す機会となっている。それに伴い、SNSの普及・活用やリモートシステムの導入が進んでいる。時代に合わせて組織の価値や習慣をアップデートしていくことで、これからも One and Only な組織として存在し続けることができる。

### JCに求められる行動

浜松市民のニーズの変化に合わせて組織を変革し、地域に求められる事業を実施する。企業や市民団体、行政などあらゆるパートナーと協働し、浜松の持続的成長につながる施策を実行する。量と質を備えた会員拡大のために運動を広げ人の意識と行動に変化をもたらすことで共感を得る。JCの存在意義を改めて定義し、個と組織の成長を目指す必要がある。

# JCI浜松 × 社会

## 持続可能な地域の実現

---

- 1 浜松の新たな魅力を創出するため、市内外の人々が参加したくなる新様式の浜松まつりを構築する。
- 2 テクノロジーと共生する社会の創造のために、地元企業と連携したデジタルリテラシーの啓発や推進をする事業を行う。
- 3 多文化が共生する社会を実現するため、ジェンダーレス社会構築事業を行う。
- 4 少子化問題是正のため、子どもをより産み育てやすい支援施策の研究、提言を行う。
- 5 安全なまちづくりや地域間交流促進のため、次世代の交通インフラ整備や交通事故の削減についてパートナーと協議し、行政への提言を行う。またその提言の実現に向けた事業を行う。
- 6 全ての人々が健康的に暮らせるまちづくりのため、健康増進スポーツ事業を行う。



# JCI浜松 × 経済

## 自立した経済の創出

---

- 1 地域経済の活性化のため、行政や民間企業、他団体とのパートナーシップを構築し、国内外のビジネスマッチングを行う。
- 2 新型コロナウイルスの影響を乗り越える、市民生活支援事業を行う。
- 3 新たな産業、雇用創出のために、起業家への相談・支援体制を構築する。
- 4 浜松の農産物を全国に発信するため、地元農家と連携した事業を行う。
- 5 中心市街地の活性化のため、松菱跡地再生事業を行う。
- 6 より働きやすい社会を作るために、新様式でのリモートワークの推進を行う。





# JCI浜松 × 環境

## 環境を考慮したまちづくり

---

- 1 環境問題を理解し、当事者意識を醸成するための事業として、佐鳴湖キレイ化プロジェクトを立ち上げる。
- 2 豊かな森林資源を守るため、天竜杉の保全・魅力発信事業を行う。
- 3 浜松が誇る浜名湖の環境的魅力を創出するために、舘山寺・弁天島再生プロジェクトを立ち上げる。
- 4 自然と資源を守るために、地域や幅広い年齢層を巻き込んだ中田島砂丘の保全・魅力発信事業を行う。
- 5 災害に強いまちづくりを実現するため、ハザードマップ普及事業を行う。
- 6 持続可能な地域社会をつくるために、それぞれの分野の専門家と連携して課題を解決する。



# JCI浜松×人材

## 地域特性を活かした人材開発

---

- 1 若者が挑戦できる場を提供するため、浜松版TOYP事業を行う。
- 2 若者を支援するため、次世代の経済人を育成をするため、キャリア教育事業を実施する。
- 3 選ばれる街づくりのため、移住支援活動を行う。
- 4 浜松の良さを知ってもらうため、地域の魅力を発信する浜松検定を行う。
- 5 青少年の健全育成と地域発展のため、ビーチスポーツの振興事業を行う。
- 6 世代と地域を超えた青少年教育のため、LOM内・LOM間ホームステイを実施する。



# JCI浜松 × 組織

## 地域に必要とされる組織の構築

---

- 1 JCI浜松のブランディングのため、YoutubeなどWebツールでの発信を強化する。
- 2 幅広い職業や年齢層にアプローチをする会員拡大を行うため、市民に周知された影響力のある人物に入会してもらう。
- 3 組織成長戦略のための組織改革として理事育成プログラムを実施する。
- 4 対内、対外によりよい影響を与えるために、ブロックや地区、日本への出向を積極的におこなないLOMに還元できるように出向委員会を設立する。
- 5 各地域と連携し相乗効果を生むために、各地域の青年会議所との連携強化・合同事業を行う。
- 6 浜松の持続的成長につながる施策を実行するために、日本青年会議所と協働した諸会議や各種事業の誘致や研究を行う。



# 5 Years Later

新型コロナウイルスによる影響で、  
浜松の街からは人が消え、大きな経済低迷を招きました。  
史上稀にみる「脅威」であったことは間違いありません。

一方で「機会」も増えました。  
新しい生活様式が定着し、より働きやすい環境に。  
人々は協力し合い、新しい浜松を創るために行動しました。

あれから私たちは  
本当に多くの皆様と、絆を深めてきました。  
子どもを産み育てやすい街、安心安全な街とはなんだろう、  
徹底的に協議をして提言をしてきました。  
浜松の誇る環境を守り、それらの魅力を発信してきました。  
スポーツや教育を通じて、次世代の育成にも力を入れてきました。  
浜松をもっと魅力ある街にするために  
一緒に活動をしたいという仲間が、続々と集まっています。

ピンチをチャンスに変えられたことが、  
私たちと浜松の大きな原動力となりました。

StrategicPlan が描く浜松の明るい未来。  
これを単なる計画にするか、実現させるのか。  
それは私たちの行動次第です。

浜松が大好きだからこそ、  
浜松の課題を見つけたいいけない。  
この街を守りたいからこそ、  
私たちは攻め続けなければならない。

決して現状に満足することなく、今までの浜松を全力で超えていく。  
それが私たち青年経済人の使命です。  
過去への感謝を忘れず、新たな歴史を開拓していく。

## やりましょう、私たちならきっとできる。

